



発行
八尾市民生委員
児童委員協議会
会長 小林 有美子
〒581-0003
八尾市本町2-4-10
☎990-4567
編集 広報部会



たまおや
玉祖神社にて

撮影者：木下広報部会員

目次

P1 表紙

P2～P4 特集

P5 専門部会活動報告

P6～P7 地区研修だより

P7 リレー投稿／趣味

P8 表彰／座右の銘／あとがき

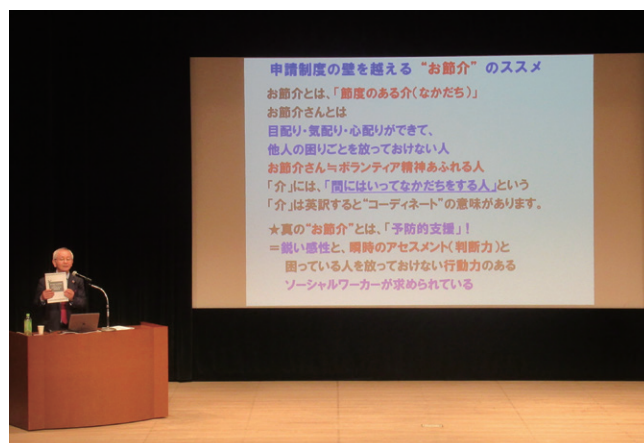
特集① 八尾市民生委員児童委員協議会総会

令和6年5月24日（金）八尾市文化会館プリズムホールにて令和6年度八尾市民生委員児童委員協議会総会が開催されました。

民生委員・児童委員の出席者137名、来賓として八尾市 大松市長、八尾市議会 松田副議長、八尾市社会福祉協議会 角田会長、八尾市民生委員推薦会 谷岡委員長職務代理、八尾市健康福祉部 當座部長、八尾市こども若者部 吉川部長にご来賓いただきました。また、各出張所長にも来ていただき、議事をスムーズに進めることができました。

記念講演では、来年の一斉改選に向けた講演会を開催しました。ふくしと教育の実践研究所 SOLA (Social Labo) 主宰 新崎国広氏をお招きし、「地域共生社会の実現に寄与する民生委員児童委員の役割と期待」をテーマにご講演いただきました。

深刻化する社会福祉問題の現状をふまえ、地域共生社会の実現に向けて民生委員・児童委員が多職種連携・地域協働の実践者として「助け上手助けられ上手」の大切さを学ぶ、コロナ禍を経て改めて気づいた民生委員・児童委員の役割の重要性についてなど、活動を発展させる様々なポイントについて教えていただきました。



第3部 新崎国広氏による記念講演



第1部 小林会長による開会のご挨拶

特集②

災害に関する研修会について

令和6年6月14日（金）八尾市文化会館プリズムホールにて、今年度、新たな取り組みとして「災害に関する研修会」を実施しました（参加者58名）。講師は一般社団法人FEEL Do（フィールド）代表理事の栗原英文氏をお招きし、「強めよう！災害時に向けたつながり 高めよう！平時の福祉力・防災力ー災害にも強い地域を目指してー」をテーマにご講演をいただきました。講演では、災害に備える民生委員・児童委員活動10か条や災害にも強い地域づくり4つのポイント、日頃の取り組みから「いつ もしも」を意識することの大切さなどを学ぶことができました。グループワークでは、ワークシートをもとにまず自分の身を守る【自助】に関する個人ワークを行った後、各地域でどのように対策を取る必要があるのかなどについて話し合い、情報共有の場となりました。また、アンケートでは「日頃からつながっておくことの必要性を再度認識しました」、「民生委員として普段から関わっている要支援者へ連絡する順番を決めておくことの重要性に気付いた」などの感想もいただきました。

日本は世界有数の地震大国です。この研修を通じて、地震だけでなく台風などの自然災害が増えている近年において、改めて平時における民生委員・児童委員としての役割を考え直すきっかけとなりました。



講師である栗原英文氏



研修会のようす



委員によるグループワーク

特集③

Wellおおさか51号に八尾市の活動が紹介されました!

Well おおさか 51号（発行：大阪府民生委員児童委員協議会連合会）に、八尾市民生委員児童委員協議会の活動として八尾市立八尾小学校と民生委員・児童委員との連携に関する記事が掲載されました。今回の記事では、地域と学校がつながるきっかけや小学生への見守り、家庭科授業での実習支援などの実際に行っている活動が紹介されています。過去の記事を含め、大阪府社会福祉協議会のホームページでも掲載されていますので、ぜひ「Well おおさか 51号」でご検索ください!



特集④

子育て支援ひろば「はとぽっぽ」の開催について

①開催地区について

昨年度から少しずつ活動再開している子育て支援ひろば「はとぽっぽ」。現在、9地区8か所（R6.9付）で、活動されています。対象者は、保護者とその子ども〔0歳～就学前（児）〕で、自由に集いながら、季節に合ったイベントの実施や絵本の読み聞かせなどを行っています。開催地区と日時、場所は右記の通りです。ぜひご参加ください。

名 称	場 所	開 催	参加対象
はとぽっぽ 成法・高美	東郷自治会館 (東本町 1-5-2)	第1(木) 10時～11時30分 4/4、5/2、6/6、7/4、9/5、10/3、11/7、12/5、 2/6、3/6	0歳～ 就学前児
はとぽっぽ 用和	用和小学校区集会所 (山城町 3-1-46)	第3(土) 10時～11時30分 4/20、6/22、9/21、12/21、2/15	
はとぽっぽ 東	山本コミセン 3階 (山本町 1-8-11)	5/12、7/28、9月、11月、3月10時～11時30分 9月以降は日程調整中	
はとぽっぽ 龍華	龍華コミセン 2階 (南太子堂 2-1-45)	第3(土) 10時～11時30分 4/20、5/18、6/15、7/20、9/21、10/19、11/16、 12/21、2/15、3/15	
はとぽっぽ 久宝寺	久宝寺コミセン (北久宝寺 2-1-1)	第3(土) 10時～12時 5/18、6/15、7/20、9/21、10/19、11/16、12/21	
はとぽっぽ 大正	大正コミセン (若林町 3-27)	第1(木) [1月と3月は第2] 10時～11時15分 4/4、5/2、6/6、7/4、8/1、9/5、10/3、11/7、 12/5、1/9、2/6、3/13	
はとぽっぽ 高安	高安コミセン 2階 (千塚 3-180-2)	第1(木) 10時～11時30分 9/5、10/3、11/7、12/5、2/6、3/6	
はとぽっぽ 曙川	曙川コミセン (八尾木 4-11)	7/19(金) 10時～12時	

★問い合わせ先★

お近くの民生委員・児童委員もしくは、八尾市社会福祉協議会（電話072-990-4567）にお尋ねください。

②研修会「子どもの遊びを学ぼう」に参加しました!

令和6年7月23日（火）八尾市社会福祉協議会が運営する幼保連携型認定こども園 おひさまこども園主催の、「子どもの遊びを学ぼう」（八尾市地域子育てつながりセンター さんさんひろば地域支援事業）に参加しました。参加者19名で、各地区ではとぽっぽの活動をされている方やボランティアグループに所属されている方などが参加されました。体を動かす歌体操や、大型絵本の読み聞かせ方、それぞれの年齢に合ったおもちゃの選び方、身近なものを活用する手作りおもちゃの体験など、現役の教諭から多くのことを教わりました。また、交流会も行い、日頃の活動の様子や悩み事について、今日の学びを地域で活かすことができるかなどについても話し合いました。少しの工夫が子どもたちのよろこびや笑顔につながることや、地域で活動を続けることの意義を感じることができたよい機会となりました。次回の開催は、12月6日（金）に予定されています。



歌体操の体験



手作りおもちゃの見学

専門部会活動報告

児童福祉部会

西郡地区 遠藤 美雪

5月29日(水)に高槻市立子育て総合支援センター「カングルーの森」施設見学会を実施しました。1階から3階まで吹抜けで、遊具や砂遊びができる中庭に面し



「ベビールーム」の見学

ているため施設全体が、とても明るいと感じました。

1階には広々としたプレイルームがあり毎日100組前後の親子が利用し、保育士や子育てボランティアが常駐しており、子育て相談や遊び方の助言を行ったりしています。なにげない会話の中から支援につながる事もあると話されていたのが印象的でした。2階には研修室と学習室。IHコンロを備えた調理室では離乳食や幼児食の調理実習中は保育士が子どもを預かってくれ、でき上がった料理はお弁当持参で遊びに来ている親子さん達と一緒に中庭の見える2階ランチコーナーで食べられます。3階

は子どもに関する幅広い相談を受け付けています。

八尾市でも、こども総合支援センター「ほっぷ」ができました。民生委員・児童委員としての役割や各分野との連携・協力が重要だと思っています。今後「ほっぷ」を拠点として八尾市全体で子育て支援の輪を広げていきたいです。

主任児童委員部会

竹瀬地区 森下 明美

9月11日(水)、河南町立総合体育館ふくふくドームにおいて講師 石川千明

氏による「スマホ時代の子どもたちに大人ができること」の講演に参加しました。

子どもたちがスマホを持つ事によって、安心と思う親がいる反面「①SNSトラブル」、「②長時間利用」、「③ネットでの出会い」など今までにない心配ごとがおこった時の対策に、頭を痛めておられる現状の話を聞かせていただきました。

スマホを使用することによって子どもたちが危ない目にあわない為に、大人が出来る事は、「①知ること(大人も子どもも)」、「②安全対策」、「③ルール作り(家庭・地域・学校)」、「④相談できる場所に」です。

私たち、大人が強い気持ち

ちで子どもたちに愛情を注ぎ、困った時にはいつでも相談してもらえ様に子ども達の目線に立ち、問題解決の糸ぐちになりたいと切に思いました。この度の講演を聞かせていただき主任児童委員として今後の活動に生かしていこうと思ひました。



地区研修だより

※第82号は、研修ではなく、地区での活動を掲載します。

「一斉改選に向けて」

上之島中地区 山下 豊次

地区研修だよりの原稿依頼を受けましたが、困ってしまいました。正直に申し上げますと、上之島中学校区地区では、コロナ禍で3年間全体での研修会は実施していませんでした。

コロナ禍以前は研修と親睦を兼ねてバス旅行等をしていました。新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられましたので、役員と相談の上、10月～11月頃には研修会を再開し、今年はテーマを決めて座学の研修にしたいと思っています。掲載の機会をい



ただいた場合は改めて報告いたします。

さて、地区研修だよりからは外れますが、当地区の喫緊の課題は、来年の一斉改選で私を含め12名が定年を迎えることになり、次に引き受けていただける方を探すことです。

「いづも朝食堂『いっしょにいっしょに』」

大正中地区 植村 幸永

今年度より毎週月曜日、大正北小学校にてこども朝食堂を立ち上げました。きっかけは学校ボランティアでの活動中に、2時間目を過ぎたころから「元気がな

いな、なぜだろう？」と気になる子どもがいました。そんな中、校長先生と話し、「朝ごはんを食べて来ないのでは？」となったことが活動の出发点となりました。

メニューは子どもたちのアレルギーを考慮しながら、おにぎり・味噌汁・副菜・デザートを基本としています。八尾市こどもの居場所づくり事業補助金や社会福祉協議会のフードバンク等を活用しています。1学期は想定以上の応募があり、高学年・低学年を週ごとに

分けて実施することで約45名の子どもたちに食事が提供出来ました。これからもかもめ会（ボランティアグループ）のメンバーと一緒に「いつてらっしゃい！」と送り出していきたいです。



朝ごはんを食べる生徒たち

「夏のイベントいろいろ」

久宝寺中地区

谷元 千津子

残暑厳しい、9月15日（日）久宝寺中学校区地区で、2つのイベントが開催されました。

午前10時から、久宝園集会所にて、「美園地区敬老会」43名の参加がありました。今年は、民生委員・児童委員の方が所属している「素清社中」さんに舞踊、

端唄を演じていただきました。最後は、河内おとこ節を委員のおひとりに唄って



美園地区敬老会

いただき、バックで控えめに躍り、大いに盛り上がりました。

恒例のビンゴゲームは、やはりお米が人気で、数に限りがあり、別の景品を各自選んでいただき、満足して貰えたのではないかと考えております。

午後1時から、久宝寺小学校にて、「好きやねん久宝寺まつり」が、開催されました。

グラウンドでの催しをはじめ、体育館での「三世代交流ふれあい大会」と、盛大に行われていました。

金券売場をはじめとして、様々なブースと、演技者の中にも民生委員・児童委員さんを見かけ、「暑い中頑張っているなあ」と感



好きやねん久宝寺まつり

心し、自分は、ちゃっかりかき氷2杯も、食べてしまいました。どちらのイベントも、当日を迎える為の準備が大変だと思われます。

この様なイベントを通じて、日頃会えない方達とふれあう機会ができ、私達民生委員・児童委員の児童や高齢者を見守り寄り添う活動につながっていくのではないかと、感じました。両地区の委員の皆様、お疲れさまでした。

リレー投稿

「はとぽっぽ再開!!」

山下 隆子
(龍華地区)

今年4月から毎月第3土

曜に龍華コミュニティセン

ターで「はとぽっぽ」を再開しました。4年間のブランクがあり、コロナを経験した上での再開でしたので、打ち合わせや準備にもとても熱が入りました。

参加して下さる方々皆さんにとって心地よい居場所となるように、これからも頑張っていこうと皆で話し合っています。

おもちゃを買いなおした

り、些細な事にもドキドキしての再始動でした。始まってみれば、子ども達の笑顔、笑顔…。お父さんやお母さん同士もおしゃべりされている場面もあり、「始めて良かった!」と思いま



パラバルーンで遊ぶ子どもたち

表彰

おめでとうござります

(※は退任者)

☆八尾市民生委員児童委員永年勤続市長表彰

(5. 5. 24)

富岡 勝己 (八尾中)

水谷 章 (東中)

平田 英雄 (上之島中)

辻井 孝夫 (上之島中)

河野 靖彦 (龍華)

安喜 正信 (久宝寺中)

園田 成子 (高砂)

貴島 秀樹 (高安)

※下澤 勝江 (曙川南中)

◎15年勤続表彰

谷村 知栄子 (八尾中)

川藤 淳子 (久宝寺中)

◎6年勤続表彰

村上 由加里 (成法中)

座右の銘

「自分に強くなれ
自分に負けるな」我を亡ぼす者は我
原因も結果も自分自身にある

坂上 耕造 (南高安中地区)

八尾市民生委員児童委員協議会のホームページが
リニューアルされます！
過去の風知草も掲載いたしますので、お楽しみに！

あとがき

今回は、イレギュラーな事案が発生し、校正間近に原稿依頼の当番を変更せざるをえなくなりました。

その結果、81号に登場した私が、又第82号に出させて頂く事になりました(笑)

ですので、またまたバタバタしてしまい、事務局にはご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありません。

この数カ月で、どの地区もイベントが復活されてきている事は、大変喜ばしい事です。2023年5月に、コロナが5類に移行されてからは、毎日ニュースで流れていた「感染者・・・〇〇件で〇〇名」と「全数把握」から、全国5000の医療機関からの報告をもとに公表する「定点把握」に、変わりました。マスクをする、しないは、本人の自由ですが、本当にそれで良いのだろうか。皆さんは、どうでしょうか？

盛大なイベントに参加させていただく時、高齢者・児童に接する時には、というか、常にマスクを常備しています。

最後に、今回1回目の広報部会は、私が欠席(連絡ミスで)1名が体調不良となり、部会員3名と事務局で行われましたが、指針をしっかりと、作って下さっておりまして、私がいなくても、大丈夫やんと、ひがんでいるのではなく皆で作っていったること、素晴らしいさを再認識させていただきました。

広報部会長 谷元千津子